



はつが野ミライク（大阪府和泉市）宅地造成完成ビュー



ハーベストランド武庫之荘（兵庫県尼崎市）完成街並み

幸せはこぶ 住まいづくり 

第47期 第2四半期(中間) 株主通信

平成31年4月1日 ▶ 令和元年9月30日

CONTENTS

株主の皆様へ.....	1
トップインタビュー.....	2
事業セグメント別予想売上高構成比.....	3
連結財務諸表の要旨.....	5
トピックス.....	7
社内紹介リレー.....	9
株主アンケートのご報告.....	11
株主優待制度、最近のIR活動.....	13
株式の状況、アンケートご返送のお願い、 IRメール配信サービスのお知らせ.....	14



健康経営銘柄 2019

Health and Productivity



2019
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

フジ住宅は従業員の健康管理に積極的に取り組む企業として「健康経営銘柄2019」及び「健康経営優良法人2019 大規模法人部門（ホワイト500）」に選定されました。

証券コード：8860

株主の皆様へ

株主の皆様には格別のご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

2020年3月期上半期（2019年4月～2019年9月）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、企業収益や雇用情勢が引き続き堅調を維持しており、個人消費や設備投資は持ち直し、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米国の保護貿易政策を発端とした米中貿易戦争の長期化に加えて、英国のEU離脱問題やアジア新興国経済の鈍化の影響、中東の原油情勢など世界的には景気悪化の懸念材料が出始めており、景気の先行きは不透明な状況となっております。

不動産業界におきましては、金融緩和による低水準の資金調達コストを背景に依然として続く良質な分譲用地の取得競争の激化、それに伴う地価の上昇や人手不足を背景とした建築コストの高止まり等により、新築分譲マンションを中心に分譲事業は厳しい事業環境となりました。

このような状況下におきまして、当社グループの当上半期の業績は、売上高においては、第2四半期連結業績予想を上回りました。各段階利益においては、中古住宅の受注高・売上高が予想を上回りましたが、戸建自由設計住宅及び個人投資家向け一棟売賃貸アパートの引渡しが下半期にずれ込んだため、利益率の差異を反映して第2四半期連結業績予想を下回る結果となりました。

なお、第4四半期連結会計期間に戸建自由設計住宅及び個人投資家向け一棟売賃貸アパートの引渡しが集中する見込みであり、通期予想に対しては売上高・各段階利益ともに概ね順調に推移しております。

当社は創業以来、“お客様に幸せになっていただくこと”を事業の目的とし、事業の拡大を追うのではなく、長期的な安定経営を行なうことを重視し、お客様に顔を向けた責任を負える住まいづくりを行なって参りました。業績には好不調はありますが、住宅事業の多角化によるバランス経営が当社の強みの一つです。中古住宅事業が徐々に伸長し、また土地有効活用事業及びそれに関連する賃貸及び管理部門が大きく成長してきた結果どちらも約3割の事業シェアを占めるようになりました。分譲住宅事業3割、中古住宅事業3割、土地有効活用事業及びそれに関連する賃貸及び管理事業の構成が3割のバランスで会社の経営がさらに安定してきております。

今後も各事業を成長させ、長期的な安定経営を目指して参りますので、引き続きご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

末筆とはなりましたが、皆様の益々のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

令和元年11月吉日

代表取締役社長 宮脇 宣綱



Q1 当上半期（当第2四半期連結累計期間）の業績及び通期の見通しについて説明してください。

当上半期の業績は、売上高51,136百万円（前年同期比4.3%減）、営業利益2,148百万円（同17.3%減）、経常利益1,999百万円（同22.0%減）、四半期純利益1,287百万円（同24.6%減）となり、当上半期の売上高は第2四半期連結業績予想を上回りました。

各段階利益においては、中古住宅の受注高・売上高が予想を上回りましたが、戸建自由設計住宅及び個人投資家向け一棟売賃貸アパートの引渡しが下半期にずれ込んだため、利益率の差異を反映して第2四半期連結業績予想を下回る結果となりました。

なお、第4四半期連結会計期間に戸建自由設計住宅及び個人投資家向け一棟売賃貸アパートの引渡しが集中する見込みであり、通期予想に対しては売上高・各段階利益ともに概ね順調に推移しております。

Q2 今後の事業エリア拡大についてお聞かせください。

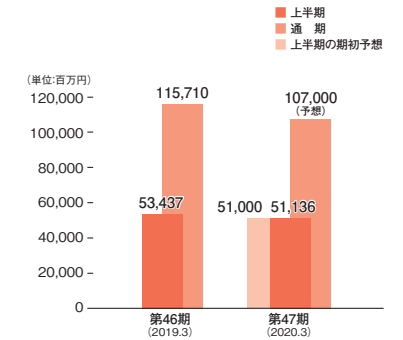
当社は、住宅のご購入様が安心してお住まいいただけるよう「売りっぱなし・建てっぱなしにしない」ことを経営方針としております。

この方針の下、ご購入様が安心してお住まいいただくため、ご購入いただいた後のアフターサービスを即時対応できるエリアにて営業範囲を設定しております。このため、営業エリアは、大阪府下を中心に阪神間、和歌山市内としており、これらの地域での事業深耕に注力する所存であります。

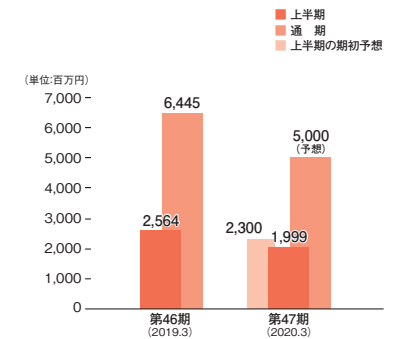
また、営業地域を拡大する場合におきましても、現在の営業地域の隣接地域に進出する可能性はありますが、その他地域への進出に関しては現在考えておりません。お客様に顔を向けた経営を行なうためにも、今後も営業範囲を大幅に急拡大することせず、地元密着型の経営を行なっていく所存であります。

業績・財務ハイライト

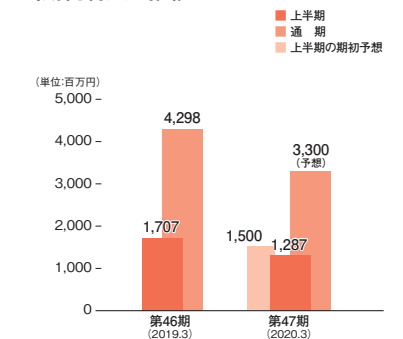
売上高の推移



経常利益の推移



当期純利益の推移



事業セグメント別予想売上高構成比



「アスモの丘 グリーンセントラル堺」(大阪府堺市)



「自由設計」※当社施工例



「シャルマンフジ堺シティエント」
(大阪府堺市)

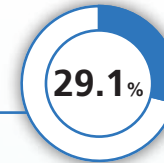


自由に見て、自由を選べる住宅情報展示場
「おうち館 本店」(大阪府岸和田市)



分譲住宅セグメント 31,100百万円

(前期比9,820百万円減)



(売上高構成比)

内訳…自由設計住宅等 30,560百万円
分譲マンション 540百万円

特長は50～200戸規模の新築戸建住宅の「街づくり」と、お客様ご自身が住まいづくりにご参加いただく「自由設計」です。戸建自由設計住宅では間取りや設備仕様に対するさまざまなニーズに対応しています。

また、新築分譲マンション販売事業及び注文住宅事業も分譲住宅セグメントに含まれます。



住宅流通セグメント 32,100百万円

(前期比993百万円減)



(売上高構成比)

中古住宅の「仕入」⇒「リフォーム」⇒「販売」の3つの要素から成り立つ改装付中古住宅『快造くん』。地域密着型経営やリフォームのマニュアル化による独自のノウハウを持つことが強みです。

一 連結・当期

分譲

フジ

あなたの住みたくし

www.fuji

住宅流通

ホ・ウ・チ・館

賃貸
管

暮らしを見守る

FA

(第47期) 予想

住宅

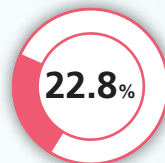
家が
見つかる
i-ie.com

土地
有効活用

FUJI

及び
管理

確かな
FUJI
AMENITY
SERVICE
SYSTEM
SS



(売上高構成比)

土地有効活用セグメント 24,400百万円



(前期比552百万円増)

内訳…賃貸住宅等建築請負	4,460百万円
サービス付き高齢者向け住宅	5,140百万円
個人投資家向け一棟売賃貸アパート	14,800百万円

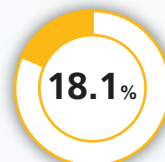
土地有効活用セグメントでは賃貸管理のノウハウを活かした提案型の賃貸住宅の建築請負を展開しています。また、当社で土地を仕入れ、賃貸アパート等を建築し販売する、個人投資家向けの一棟売賃貸アパート販売を主力に、サービス付き高齢者向け住宅の販売並びに建築請負も展開しています。



サービス付き
高齢者向け住宅
『フジバレスシニア』
(大阪府堺市)



個人投資家向け一棟売賃貸アパート『フジバレス』シリーズ



(売上高構成比)

賃貸及び管理セグメント 19,400百万円



(前期比1,550百万円増)

内訳…賃貸料収入	14,300百万円
サービス付き高齢者向け住宅事業収入	3,880百万円
管理手数料収入	1,220百万円

賃貸アパート及びサービス付き高齢者向け住宅の建物管理や入居者募集、賃料回収等の管理業務及び分譲マンションの管理組合からの運営受託を行なっています。良質の賃貸・管理サービスは提案型の建築請負の営業支援となり、引渡し後の賃貸管理の引き受けと併せて、土地有効活用セグメントとの相乗効果も高い事業です。

※当第2四半期連結会計期間より、注文住宅事業は、分譲住宅セグメントに含まれます。

連結財務諸表の要旨

Point 1

たな卸不動産（販売用不動産、仕掛販売用不動産、開発用不動産、未成工事支出金）

たな卸不動産残高は、前連結会計年度末と比較して、12,215百万円増加しました。主として、マンション建設用地と個人投資家向け一棟売賃貸アパート用地の取得が増加したことによるものです。

Point 2

現金及び預金、短期借入金、長期借入金

前連結会計年度末と比較して、現金及び預金は1,560百万円増加、短期借入金及び長期借入金は14,928百万円増加しました。分譲住宅プロジェクト用地、中古住宅アセット事業、自社シニア事業に係る土地・建物の取得、個人投資家向け一棟売賃貸アパート用地の取得等のため、金融機関から資金調達を行なったことによるものです。

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円 百万円未満切捨)

資産の部	前連結会計年度	当第2四半期連結会計期間	負債の部	前連結会計年度	当第2四半期連結会計期間
	2019年3月31日	2019年9月30日		2019年3月31日	2019年9月30日
流動資産	107,998	121,596	流動負債	38,899	44,762
② 現金及び預金	12,041	13,602	支払手形・工事未払金等	5,665	5,032
完成工事未収入金	191	385	② 短期借入金	23,907	31,208
① 販売用不動産	28,226	29,080	その他	9,326	8,520
仕掛販売用不動産	10,324	18,137	固定負債	70,809	79,236
① 開発用不動産	54,688	58,172	② 長期借入金	69,758	77,385
未成工事支出金	94	158	その他	1,050	1,850
その他	2,432	2,060	負債合計	109,708	123,998
固定資産	39,466	41,081	純資産の部		
有形固定資産	35,963	37,537	株主資本	37,686	38,569
無形固定資産	359	357	その他の包括利益累計額	26	26
投資その他の資産	3,144	3,186	新株予約権	44	83
資産合計	147,465	162,678	純資産合計	37,756	38,679
			負債・純資産合計	147,465	162,678

セグメント情報

(単位:百万円 百万円未満切捨)

前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

	報告セグメント				合計
	分譲住宅	住宅流通	土地有効活用	賃貸及び管理	
売上高					
外部顧客への売上高	17,230	15,749	11,879	8,578	53,437
③ セグメント利益	1,265	170	1,160	825	3,422

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

	報告セグメント				合計
	分譲住宅	住宅流通	土地有効活用	賃貸及び管理	
売上高					
外部顧客への売上高	13,166	18,656	9,472	9,840	51,136
セグメント利益	457	465	828	1,131	2,883

四半期連結損益計算書 (単位:百万円 百万円未満切捨)

前第2四半期連結累計期間 当第2四半期連結累計期間
自 2018年4月1日 自 2019年4月1日
至 2018年9月30日 至 2019年9月30日

③ 売上高	53,437	51,136
売上原価	44,752	43,215
販売費及び一般管理費	6,085	5,772
③ 営業利益	2,599	2,148
営業外収益	277	239
営業外費用	312	388
③ 経常利益	2,564	1,999
特別利益	1	0
特別損失	12	1
税金等調整前四半期純利益	2,552	1,998
法人税、住民税及び事業税	863	659
法人税等調整額	△ 17	50
③ 親会社株主に帰属する四半期純利益	1,707	1,287

Point 3 売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益

住宅流通事業において中古住宅の販売が堅調に推移したこと、賃貸及び管理事業において、賃貸物件の引渡し増加による管理物件が増加したことにより、これらの部門の売上高・利益はともに前年同期を上回る結果となりました。分譲住宅事業、土地有効活用事業の売上高・利益はともに前年同期を下回る結果となっておりますが、これらは引渡しが増え下半期にずれ込んだことによるものであり、通期予想に対しては概ね順調に推移しています。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円 百万円未満切捨)

前第2四半期連結累計期間 当第2四半期連結累計期間
自 2018年4月1日 自 2019年4月1日
至 2018年9月30日 至 2019年9月30日

④ 営業活動による キャッシュ・フロー	3,391	△ 10,727
⑤ 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 3,945	△ 3,082
⑥ 財務活動による キャッシュ・フロー	7,219	15,370
現金及び現金同等物の増減額	6,664	1,560
現金及び現金同等物の期首残高	10,486	12,041
現金及び現金同等物の 四半期末残高	17,151	13,602

Point 4

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益の計上による資金の増加はあったものの、主としてたな卸資産の増加を反映し、営業活動によるキャッシュ・フローは10,727百万円の支出となりました。

Point 5

投資活動によるキャッシュ・フロー

中古住宅アセット事業及び自社シニア事業に係る物件の取得による有形固定資産の増加を反映し、投資活動によるキャッシュ・フローは3,082百万円の支出となりました。

Point 6

財務活動によるキャッシュ・フロー

事業用地取得による短期借入金・長期借入金の増加及び社債の発行を反映して、財務活動によるキャッシュ・フローは15,370百万円の収入となりました。

トピックス：フジ住宅グループこれまでの受賞歴

当社は不動産業界で唯一選定された「健康経営銘柄2019」（2年連続3度目）や、全国5社のみの受賞となった「テレワーク先駆者百選 総務大臣賞」を受賞しております。

● 2011年8月

「道路ふれあい月間」における
道路愛護団体等の
国土交通大臣表彰



● 2016年1月

「健康経営銘柄2016」

経済産業省が東京証券取引所と共同で選定



元バドミントン選手
潮田玲子さんと
社長の2ショット

● 2017年2月

「健康経営優良法人2017
大規模法人部門(ホワイト500)」

経済産業省が日本健康
会議と共同で認定



2014

2015

2016

2017

● 2014年11月

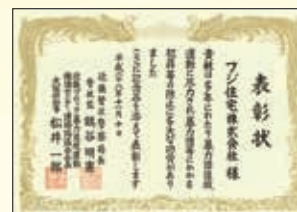
「HOME'S接客グランプリ2014」
全国1位(おうち館岸和田店)



● 2016年11月

暴力団追放功労表彰

近畿管区警察局長・近畿ブロック
暴追センター連絡協議会
会長連盟表彰



● 2017年3月

「DBJ※健康経営
(ヘルスマネジメント)格付」
最高ランク



※DBJ：日本政策投資銀行

大変名誉光栄なことであり、当社としてもこれらの受賞歴に恥じないよう、今後も社員と社員の家族の幸せ・健康を第一に考え、業務に励んで参ります。

● 2018年2月

「健康経営銘柄2018」

経済産業省が東京証券取引所と共同で2度目の選定



● 2018年2月

「健康経営優良法人2018 大規模法人部門(ホワイト500)」

経済産業省が日本健康会議と共同で2度目の認定



● 2019年2月

「健康経営銘柄2019」

経済産業省が東京証券取引所と共同で3度目の選定



● 2019年2月

「健康経営優良法人2019 大規模法人部門(ホワイト500)」

経済産業省が日本健康会議と共同で3度目の認定



2018

2019

● 2018年8月

「DBJ健康経営 (ヘルスマネジメント) 格付」 最高ランク(2度目)



● 2018年11月

「テレワーク先駆者百選 総務大臣賞」

総務省が選定



古賀総務大臣
政務官と
社長

● 2019年9月

「DBJ健康経営 (ヘルスマネジメント) 格付」 最高ランク(3度目)



社内紹介リレー（最終回）

フジ住宅では「お客様に幸せになっていただくこと」を事業の目的とし、全社一丸となって取り組んでいます。当社の役職員がどのような気持ちで、どのような業務を行なっているかをシリーズでご紹介します。最終回はアフターサービス部です。



お客様とフジ住宅アフターサービス部は、マイホームのお引渡しをさせていただいたその日からお付き合いが始まります。お引渡し直後から、お客様の住まいに関するご不安をすぐに解決できるよう、休日もスタッフが出勤して電話での対応を行なうなど、万全の態勢で取り組んでおります。お客様からいただくご相談内容はさまざまで、『お手入れ方法を教えて欲しい』『扉の調子が悪いので見て欲しい』『工事業者を紹介して欲しい』と月に1,000件以上にも及ぶお問い合わせがあり、時には40年以上前にお引渡しをさせていただいたお客様からご相談をいただくこともあります。

またご購入いただいたお客様には、お引渡し後3か月・1年・2年・5年・10年目に定期アフター訪問を実施しており、大切に長く住んでいただく為のアドバイスやお手入れ方法などもお伝えしながら点検を行なっております。

フジ住宅の家は、最高等級の耐震性である耐震等級3（数百年に一度発生する地震（震度6～7程度）の1.5倍の地震に対して倒壊・崩壊しないこと。防災拠点や放射性物質貯蔵施設と同程度の最も強い耐震性。）を取得していることや、社会問題にもなっているPM_{2.5}や花粉などから家族を守り健康で

快適な生活空間を実現できる『炭の家』を採用しており、安心・安全なマイホームを提供しております。

私たちアフターサービス部は『永く大切に住んでいただきたい』『フジ住



アフター補修

『家を買ってよかったと思っていただきたい』と考え、お客様からいただいたご相談やご依頼はいち早く解決できるよう、『スピードは誠意』との思いで取り組んでおります。当社は、今までもこれからも売りっぱなし・建てっ



アフターご訪問

ぱなしにはいたしません。お客様に幸せになっていただくことを一番に考え、アフターサービス部全員がお客様対応に取り組んでおります。

当社の『売りっぱなし・建てっぱなしにしない』の創業理念を全ての協力業者様がご理解くださっており、当部から修理依頼をした際も、とても協力的にかつ迅速にご対応していただいております。協力業者様から出てくる言葉はいつも前向きで、お客様を第一に考えてくださり、何が

お客様にとってベストの方法なのかを私たちと一緒に考えてくださいます。我々社員だけではなく、全取引先様までが『本音・率直・ストレートに、明るく・元気に・イキイキと・礼儀正しく・さわやかに』仕事に携わることができております。

平成30年9月に発生した台風21号は、和歌山市内から大阪全域に甚大な被害をもたらしました。発生直後から昼夜問わず何千件ものお問い合わせをいただき、誰もが経験をしたことが無い規模の被害でしたが、アフターサービス部はもちろんのこと、協力業者様、他部署とも連携を取りながら、全社が一丸となり修繕工事に取り組んで参りました。

思うように対応が進まない中、お客様にお待ちいただかなくてはいけない状況もありましたが、中には『大変な時ですが無理しないでくださいね』と我々を労ってくださるお言葉をいただけることもあり、そのようなお言葉に力をいただきながら修繕工事に取り組んで参りました。

私どもの対応エリアでもまだブルーシートで覆った家屋が所々残っており、全てのお客様対応が終わったわけではございませんが、引き続きアフターサービス部の社員が一丸となり、お客様に安心して住み続けていただけるよう、全力を注いで参ります。

お引渡しをした時の“笑顔”がいつまでも続く住まいであるように、アフターサービス部は関連部署、協力業者の皆様とともにお客様にご満足いただけるアフターサービスを提供できるよう、これからも全力を尽くして参ります。

(リレー紹介文担当者：アフターサービス部 丸山 貴史)



アンケートにてたくさんのコメントをいただきありがとうございました。
お寄せいただいたご意見の一部をご紹介します。

近隣に、フジ住宅の大規模開発や
小規模開発をみかけるとうれしく
感じます。フジ住宅の家々に
仲間がとまり、人々の声
が聞こえてくると、この
会社に投資し、かかわるこ
とがうれしく感じます。フジ住宅
をこれからも応援していきたいと思います。

(大阪府 男性の方)

昨年度の台風後、「屋根の点検をされたか
異状ありませんか」との連絡をいただいた時は
驚きました。引渡し後15年近く経過し、
保証期間を終了した家の点検を連絡されたの
ないのに知らせていただけるのは、さすがいい会社です。
それ以外にもアフターサービスの充実、適切なアフター
住宅という一生ものの買い物であること、
安心してお任せできる会社であること、
目を強くしてあります。従業員の方々の生活の支
かを入れているところに、古くから培った
経営の良さを改めて感じ、好感が持てます。
顧客、従業員と関わりあうことが、会社は
必ず発展していくものです。一層の発展を信じています。

(大阪府 男性の方)

社長の写真が1冊すばらしい
笑顔で、すてきだと思えます
会社よし！
お客様よし！
株主よし！の3方よしで
これからもがんばってください。
健康経営は不動産業
でいろいろ問題がおこっているなか
たいへん株主としては喜ぶことば
しく思いました。

(千葉県 男性の方)

「フジ住宅の森」として和歌山県の
「企業の森」事業に参加はじめても素晴らしいことだと思えます。
森は地球にとって、人間にとって生きていく上で大切なものです。マンション暮らしで土に触れる機会のない身としては、「アー、うんうん!!!。私も植樹に参加したい」と思っています。フジ住宅と共に木がすくすく成長してくるの、嬉しいです。

(大阪府 女性の方)

「愛社を日本 住宅メーカーの原点とも
愛社を家づくり 言葉のメッセージに
愛社を暮らし」 きました。

これからもイセのメーカーよりも感じる
あったかい家もたてて下さい
これからも株を保有しながら応援
しています！



(東京都 男性の方)

トピックスの中に高い志を感じます。
水豊かな、そして緑あふれる日本を
大切に思う貴社の取り組みが
読み取れました。
「何を大切にするか」
株主の一人であることに喜びを
感じます。

(千葉県 男性の方)

お知らせ

▶ 株主優待制度

対象となる株主様

毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された500株以上保有の株主様を対象とします。

株主優待の内容

次のとおり、保有株式数に応じ、優待品を贈呈いたします。

贈呈の時期

定時株主総会終了後の6月下旬の発送となります。

保有株式数	優待の内容
500株以上 1,000株未満	クオ・カード 1,000円分
1,000株以上 5,000株未満	JCBギフトカード 3,000円分
5,000株以上10,000株未満	JCBギフトカード 4,000円分
10,000株以上	JCBギフトカード 5,000円分

▶ 最近のIR活動



決算説明会風景

日時	内容	場所	主催者
2019年2月16日(土)	個人投資家向け会社説明会	東京	インベストメントブリッジ
2019年3月16日(土)	個人投資家向け会社説明会	大阪	インベストメントブリッジ
2019年3月23日(土)	個人投資家向け会社説明会	名古屋	ラジオNIKKEI
2019年5月10日(金)	個人投資家・金融機関・証券アナリスト向け決算説明会	大阪	日本証券アナリスト協会
2019年5月17日(金)	機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会	東京	日本証券アナリスト協会
2019年11月5日(火)	個人投資家・金融機関・証券アナリスト向け決算説明会	大阪	日本証券アナリスト協会
2019年11月8日(金)	機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会	東京	日本証券アナリスト協会
2019年12月14日(土)	個人投資家向け会社説明会	大阪	インベストメントブリッジ
2020年5月13日(水)	個人投資家・金融機関・証券アナリスト向け決算説明会	大阪	日本証券アナリスト協会
2020年5月15日(金)	機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会	東京	日本証券アナリスト協会

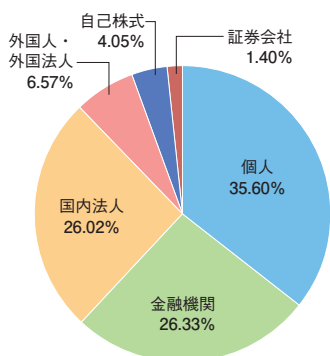
株式の状況 (2019年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 105,000,000株
- 発行済株式の総数 36,849,912株
- 株主数 7,854名 (内、自己株式1,492,440株)
- 大株主

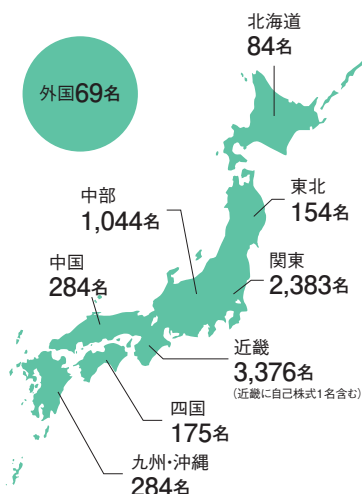
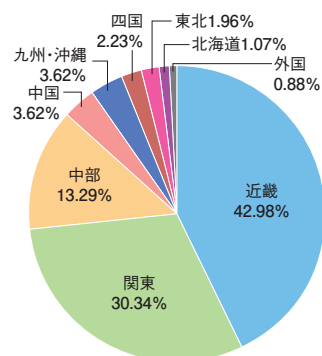
株主名	持株数	持株比率
一般社団法人今井光郎文化道徳歴史教育研究会	6,083千株	17.21%
一般社団法人今井光郎幼児教育会	2,680千株	7.58%
フジ住宅取引先持株会	2,179千株	6.16%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,697千株	4.80%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,609千株	4.55%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・株式会社紀陽銀行口)	1,012千株	2.86%
フジ住宅従業員持株会	728千株	2.06%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託・株式会社池田泉州銀行口)	681千株	1.93%
株式会社紀陽銀行	585千株	1.66%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	582千株	1.65%
合計	17,840千株	50.46%

(注) 上記のほか、自己株式1,492千株があります。
 (注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

● 所有者別株式分布状況



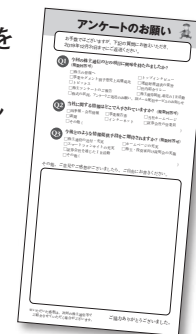
● 地域別株主分布状況



アンケートご返送のお願い

株主、投資家の皆様とのコミュニケーションを図るため、アンケートを実施させていただきます。ご協力いただきますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

お手数ではございますが、同封のアンケートはがきにご記入いただき、2019年12月31日までにご返送くださいますようお願い申し上げます。多数のご意見・ご感想をお待ちしております。



IRメール配信サービスのお知らせ

(登録無料)

当社では、株主、投資家の皆様を対象にしたIR情報メール配信サービスを行なっています。最新の開示情報やホームページの更新などのIR情報を、ご登録いただいたメールアドレスにお知らせしておりますので、是非ともご登録いただきますようお願い申し上げます。

【メール配信サービス 登録方法】

当社ホームページ (<https://www.fuji-jutaku.co.jp/>) よりご登録いただけます。



クリック



ここで必要事項を入力の上ご登録ください。当社から最新情報を配信いたします。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
公告の方法	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
上場証券取引所	電子公告による < https://www.fuji-jutaku.co.jp/koukoku/top.html > 東京証券取引所 市場第一部
株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所 (郵便物送付先)	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031 [平日 9:00~17:00]
(インターネット) ホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【株式に関する住所変更等のお届け及びご照会先について】

証券会社等に口座をお持ちの株主様 ⇒ 株主様の口座のある証券会社等

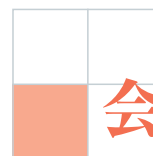
証券会社等に口座をお持ちでない株主様
(特別口座の株主様[※]) ⇒ 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(上記電話照会先)

※株券電子化(2009年1月5日実施)前に証券保管振替機構(ほふり)をご利用されておらず、その後も証券会社等に口座をお持ちでない株主様の株式は、当社が三井住友信託銀行株式会社に開設した特別口座で管理されています。



 **フジ住宅株式会社**

〒596-8588 大阪府岸和田市土生町1丁目4番23号
Tel.072-437-9010 Fax.072-498-1004



会社概要 (2019年9月30日現在)

社名	フジ住宅株式会社
英文商号	FUJI CORPORATION LIMITED
設立	昭和49年4月19日
代表者	宮脇宣綱
資本金	48億7,206万円
従業員数	1,202名(パート社員を含む)(連結)
事業内容	分譲住宅事業、住宅流通事業、土地有効活用事業、賃貸及び管理事業
関連会社 主要取引銀行	フジ・アメニティサービス株式会社 三井住友銀行、池田泉州銀行、紀陽銀行、りそな銀行、 関西みらい銀行、みずほ銀行、日本政策投資銀行、 あおぞら銀行、みなど銀行、三井住友信託銀行、 北國銀行、京都銀行、南都銀行、三菱UFJ銀行
役員	代表取締役会長 今井光郎 人財開発室担当 代表取締役社長 宮脇宣綱 専務取締役 山田光次郎 事業企画本部長・大阪支社支社長 専務取締役 松山陽一 土地有効活用事業部長 取締役 石本賢一 経営企画部長・IR室長・財務担当 社外取締役 岩井伸太郎 社外取締役 中村慶子 執行役員 白樫浩之 分譲住宅事業部営業企画・事務部長等 執行役員 池田宏 土地有効活用事業部第2営業部長 執行役員 森本隆 土地有効活用事業部第1営業部長 執行役員 西田宏輔 建設事業本部長 執行役員 川口卓 分譲住宅事業部本社営業部長 常勤監査役 川出仁 社外監査役 高谷晋介 社外監査役 原戸稲男

会計監査人 有限責任監査法人トーマツ



古紙配合率70%再生紙を使用しています

